

---

## 5. <水球陣> 関東学生リーグ第4戦

H27.5.24 対防衛大 @専修大学生田プール

東大 1 4 2 8 計 15

防衛大 1 1 0 1 計 3

得点者: 池亀(1)、石田(3)、梶原(2)、藤目(1)、山田(8)

浪間がない状態での戦いとなるこの試合。試合前にはしっかりとその練習を積み、準備は完璧である。いつもとは違う状況で挑む試合となるが、いつも通りの力を発揮できれば勝てない相手ではない。

### 第1ピリオド

前半、東大はパスカットから何度もチャンスをつくるが、シュートを決めきることができない。逆に、相手にコーナーから先制点を取られる。その後、東大は点を早く取り返そうと焦り、パスミスが増えていく。しかし、東大は、梶原のフローティングがペナルティースローを誘発し、それを山田が落ち着いて決め、同点に追いつく。その後、東大は再三の相手の退水からのチャンスも決めきれず、同点のまま第一ピリオドは終了。

### 第2ピリオド

開始後、数分どちらも決定的なチャンスを作れない。しかし、東大は、相手のパスミスからチャンスをつくり、山田がシュートを決め、逆転する。第2ピリオド終了2分前に梶原が泳ぎこみ、ペナルティースローを誘発し、山田が決める。その後カウンターで追加点をあげる。防衛も退水からのチャンスを決め、点を返す。東大は、終了間際に再びカウンターを決め、3点差で第2ピリオドは終了。

### 第3ピリオド

開始後何度もチャンスをつくる中で、谷口のパスカットからカウンターを仕掛け梶原がハンツァーを決める。その後、カウンターや退水から何度もチャンスをつくるが、なかなかシュートを決めることができない中、池亀が落ち着いてカウンターを決める。終了間際、東大はキーパーとの一対一のピンチを招くも疋田の好セーブにより5点差のまま第3ピリオドは終了。

#### 第4ピリオド

東大は、追いつくために果敢に攻めてくる防衛の攻撃をしっかり守り、カウンターを立て続けに決め、3点をとる。防衛にフリーでミドルシュートを決められ1点を返されるものの、その後も落ち着いてカウンターを決め続け、15-4で東大の勝利となった。

前半、相手に先制点を取られ、なかなか流れに乗り切れず点差が思うようにはつかなかった。しかし、後半になってカウンターをしっかりと決め、思い通りの展開に持ち込み、点差をつけて勝つことができたが、課題の残る試合であった。

最後に監督を務めてくださった下東さん、応援にいらしてくださった 林さん、吉田さん、只野さん、競泳陣の皆さん、ありがとうございました。

(文責 宮内悠太)

---